

ボルネオ赤道マラソン2013 テロで中止 Facebook の呼びかけで100人以上走る

二
五
年
五
月
十
一
日



5月4日(土)2013年ボルネオ赤道マラソンが行われる予定で、前日ナンバーカードを受け取るため会場に出かけると「明日のマラソン大会は中止となりました」と告げられた。理由は大会前、採石場から700個の起爆装置と爆薬が盗まれ、犯人9人が逮捕されたが、爆発物はまだ発見されていない。5月5日はマレーシア総選挙の日であるため、選挙の妨害を狙った犯行の可能性があるが、ボストンマラソンのテロ事件のこともあり、万一テロに使われることも考えると警察は警備に責任が持てないので中止を要請し、大会本部は中止を決定した。しかし、赤道マラソンを走ろうと世界各地から集まった命知らずの冒険家ランナーたちは、それでは収まりまがつかません。私も突然レースが中止ですと言われて、一瞬どうすればいいのかすぐには思いつかなかつたし、フルマラソン400回目を走るためこのボルネオ島まで来たのだから、何としてでもフルマラソンを走りたかった。パッケージツアーで来ていた他の日本人ツアーの人たちは、早々に添乗員が提案した他のキナバル公園トレイルやリパークルージングツアーの代替ツアーに切り替えていたが、私はテロに会ってもいいから命を賭けてでもフルマラソンを走らなければならないと思い、相談するとFacebookの情報に注意してくださいと言うアドバイスを受けた。早速ユースホステルに戻り持って来たパソコンでFacebookを見ると、シンガポールのランナーPatricの「5月4日午後7時にリカスタジアムに集まり、オウンリスク(自己責任)セルフサポート(自力本願)でボルネオマラソンを走りましょう。」という書き込みを見つけた。これを見て「私はこの大会で400回目のフルマラソンを走るために日本からやって来たランナーです。世界中の命知らずの冒険家ランナーの皆さん、どうか私と一緒に走りましょう」と呼びかけた。集合場所に行くと続々とPatricなどランナー達が集まり、20人近くに達した。お互い自己紹介をしあい、コースなどを相談した後、午後7時過ぎにスタートした。Facebookで呼びかけで集まったグループはほかにもいくつかあり、午後9時半の正規スタートには60人くらい、その他のいくつかのグループも合わせ100人以上のランナーが走り、コース途中には真夜中にも拘らずボランティアエイドもあった。最初はみんなと一緒に走っていたが、さすがFacebookの呼びかけで集まったランナーは若い人が多く、そのうちにだんだん離され、私はコースに不慣れだったので、基本的に海岸沿いの美しい、安全な単純コースを往復し、GPS付のガーミン110で距離を確認しながら無事42.195kmを6時間57分13秒で完走した。テロの恐れのために中止となったボルネオ赤道マラソン、しかし、FacebookのPatricや他のランナー達のお陰で無事フルマラソン400回目を完走することができた。Facebookに心から感謝します。これからもこの赤道マラソン400回目完走を糧に、マラソン人生を走り続けていくつもりだ。

そして、Facebookの素晴らしい威力にも気づかされた今回のボルネオ赤道マラソンだった。



ボルネオ島、キナバル公園ハイキングトレイル トロピカルなサピ島、マヌカン島で泳ぐ

ボルネオ島は、東南アジアの島で、グリーンランド島、ニューギニア島に次ぐ、世界第3位の島。日本の国土の約1.9倍の大きさである。赤道が通っており1年中暑い島である。マラソンの行われる「コタキナバル」は、ボルネオ島の北東部にあるサバ州の州都で、ボルネオの大自然に囲まれた東マレーシア最大の都市だ。緑豊かな熱帯のジャングル、白く輝く砂浜とコバルトブルーの海、珊瑚礁に囲まれた美しい島々など、市街地からほんの少し足を延ばすだけで、ワクワクするような素晴らしい光景が訪れる人々を待ち受けている。コタキナバルの北東約80kmにある「キナバル国立公園」は、世界遺産に指定されているサバ州最大の見所。キナバル国立公園の拠点となる公園本部の周辺には、宿泊施設や、レストラン、売店など、観光のための施設が充実しているほか、周辺を散策できるトレイルも整備されていて、熱帯の高山に広がる大自然を誰でも気軽に体験することができる。

広大な公園の一角には、高さ約40mの熱帯樹林の樹冠にかけられた158mの吊り橋でスリル満点の空中散歩が楽しめる「キャノピー・ウォーク」や、隣接する「ポーリン温泉」などの観光名所もある。温泉の入浴は水着着用だが、トレッキングやキャノピー・ウォークで汗をかいた後に、野外浴場でジャングルの緑を眺めながらのんびりするの気持ちいいものだ。

サピ島は、トゥンク・アブドゥル・ラーマン公園5島のうちのひとつの島。公園内で最も海岸が美しく、魚も多くシュノーケリングやダイビングに最適だ。また、島内は自然も豊かでオトカゲやカニクイザルもいる。マヌカン島は、設備の整ったブーメラン形をした島で、縦に長いビーチが特徴。海水はとても透明度が高く、ちょっと潜るだけで色鮮やかなお魚達を見ることができる。

マラソンの後、「キナバル国立公園」、サピ島、マヌカン島を訪れ、トロピカルな熱帯気分のなか、トレイルや海水浴を楽しんだ。

